

民生局こども家庭支援センター

【特別会計母子父子寡婦福祉資金貸付事業費】

その他事業

令和4年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	特別会計	母子父子寡婦	款	1	項	1	目	1	説明資料	4	項目番号	2
事務事業名	母子父子寡婦福祉資金貸付事業(事務費及び貸付金)									所管部課名	こども家庭支援センター こども給付課		

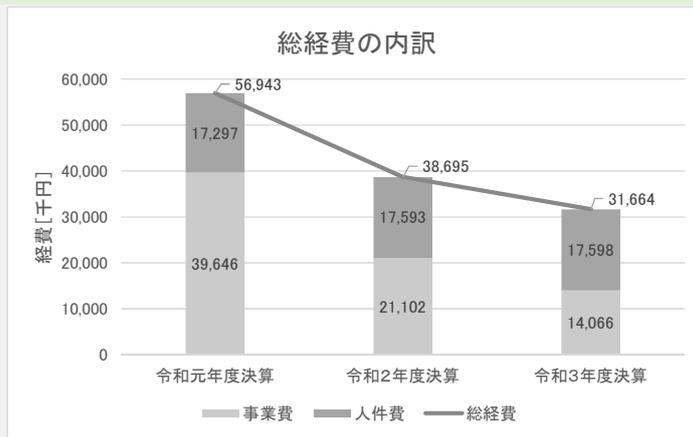
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令	母子及び父子並びに寡婦福祉法						
事業目的	母子家庭、父子家庭、寡婦家庭に対し、必要な資金を貸し付けることにより、経済的自立の助成と生活意欲の助長を図り、あわせてその扶養している児童の福祉を増進すること。					分野別計画	第2期横須賀子ども未来プラン
具体的な事業内容	経済的援助として、無利子で児童の学費を貸し付ける就学資金をはじめ、全部で12種類ある貸し付け事業を行う。過去の貸し付けにかかる償還の滞納に対し、督促を行う。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	39,646	21,102	14,066	66,330	千円
b 人件費	17,297	17,593	17,598	17,687	千円
正規職員	1.3	1.4	1.2	1.2	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	6,160	5,830	7,584	7,705	千円
総経費（a + b）	56,943	38,695	31,664	84,017	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績
母子福祉資金 貸付件数 70件 父子福祉資金 貸付件数 2件 寡婦福祉資金 貸付件数 1件 貸付金償還率 現年度 83.7% 過年度 8.5%	母子福祉資金 貸付件数 37件 父子福祉資金 貸付件数 0件 寡婦福祉資金 貸付件数 0件 貸付金償還率 現年度 87.9% 過年度 9.7%	母子福祉資金 貸付件数 27件 父子福祉資金 貸付件数 1件 寡婦福祉資金 貸付件数 0件 貸付金償還率 現年度 88.8% 過年度 9.1%

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）
令和2年度から日本学生支援機構で、所得の低い世帯に対する給付型(返済しなくてよい)奨学金制度が開始されたため、対令和元年度比の貸付件数で、母子福祉資金の就学支度資金が令和2年度は16件減、令和3年度は10件減、修学資金も令和2年度は17件減、令和3年度は32件減となっており、減少傾向は継続している。
償還については、令和2年度より滞納額が少ない方への督促も積極的に行うこととしたため、現年度の償還率は上昇した。
一方で新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、過年度分については減少した。
なお、国庫への返還金及び一般会計への繰り出し金、及び予備費は事業費に含んでいない。

今後の事業の方向性
国から市への貸付金により運営している制度であるため、大学の無償化やひとり親に対する補助制度など国の動向に併せ、必要な費用に対するの貸し付けを継続していきたい。